

消防だより

No.98



令和2年2月5日

Tokamachi Fire Department

火の用心

特集

「もしも」に備える

（覚えておきたい情報ツール）



【自助・共助・公助】

防災・減災対策は、自分自身や家族の身を守るために取り組む「自助」を基本に、地域や身近な人同士が助け合って取り組む「共助」、国や地方公共団体などが取り組む「公助」があります。この三助がしっかりと機能することで、災害による被害を最小限に防ぐことができます。今号では、主に「自助」について説明します。

特集 「もしも」に備える

突然やってくる災害に対して、私たちの備えは万全でしょうか。自分や自分が大切だと思う人の命を守るために、今からできる「備え」について紹介していきます。
 (写真:津南町足滝、令和元年10月撮影)



台風19号及び前線による大雨の被害
 (総務省消防庁 HP より)

死者 **99**人
 行方不明者 **3**人
 負傷者 **380**人
 家屋被害 **9万**棟以上

※令和2年1月10日現在の速報値

台風19号被害

令和元年10月に発生した豪雨の被害は記憶に新しいことと思えます。広い範囲で記録的な大雨となり、その影響により、各地で大規模浸水、人的被害、ライフライン等に大きな被害が発生し、当地域の一部でも、大きな被害を受けました。



(写真:長野建設事務所、中野市提供)



▶台風19号で被害にあった長野県に、新潟県隊として十日町消防も派遣されました。



十日町消防 小堀派遣隊長

大規模災害が発生すると、被災地の消防力だけでは対処できないことが想定されます。そのようなとき、国の指示を受け全国各地から消防の応援部隊が駆けつけます。この応援部隊を「**緊急消防援助隊**」といい、被災地の消火・救助・救急活動を実施します。

あゝ時のこと、覚えていますか？

平成23年7月に発生した新潟・福島豪雨災害。十日町市・津南町では、過去に経験したことがない記録的な大雨となり、各所で甚大な被害を受けました。新潟県では、死者4人、行方不明者1人、負傷者13人に及び、家屋被害は1万5千棟を超えました。

このような過去の災害を経験した人たちは、自然の予想不能な猛威がどれだけ恐ろしいのかをよく知っています。この経験



を次に生かすため、いつ起きるかわからない災害に対し、少しでも自分の身を守るように準備しておかなければなりません。

十日町市・津南町過去の災害 ※ () 当地域の数値

発生日月	災害名
平成16年7月13日	新潟豪雨土砂災害
平成16年10月23日	新潟県中越地震 → (死者9人、負傷者605人)
平成19年7月16日	新潟県中越沖地震による土砂災害
平成23年3月12日	長野県北部地震 → (負傷者36人)
平成23年7月	新潟・福島豪雨 → (死者1人、行方不明者1人)

1 防災情報

今できる備えとして、まずは防災情報を確認しましょう。

次の各ホームページに地震・洪水等のハザードマップや避難所一覧などの災害への備えに役立つ情報を掲載しています。



check!!

ハザードマップ

住んでいる場所にどのような危険があるか知ることも重要です。各種災害によって被害が予想される場所を地図に示した「ハザードマップ」を確認しましょう。十日町市、津南町が出しているHPやリーフレットから詳細情報を確認できます。

2 アプリ

アプリを活用すると、場所を選ばず災害に関する様々な情報を確認できます。

check!!

新潟県防災ナビ

災害情報だけでなく、安否確認機能があり、友人や家族の安否を確認することもできます。

もしも!

自助を極める!!

のために...

～覚えておきたい情報ツール～



情報ツールを活用しよう

ラジオは、「乾電池で聞ける」ことや「携帯性に優れる」といったことから、災害時の情報収集手段として利便性に優れています。

十日町市では、令和3年度以降、デジタル防災行政無線の運用開始を予定しています。戸別受信機は、令和2年度より各世帯や事業所に順次設置され、活用できるようになります。

4 ラジオ行政無線

防災行政無線 十日町市防災ラジオ
戸別受信機 津南町広報無線

3 メール

災害用メールに登録しておくと、緊急時の正確な情報を素早く自動的に受け取ることができます。

check!!

あんしんメール (市)

津南町防災メール (町)

防災・気象・避難情報等がメールで届くため、携帯電話やパソコンを持っている人は、ぜひ登録しておきましょう。

命を守るための行動

災害を予測することは困難です。そのため、日頃から「もしも」を想定して様々な備えをしておくことはとても重要です。備えをすることで自分が置かれている状況を判断できるようになり、早期に命を守る適切な行動ができるようになります。

この先災害が起きたときに、自分自身や大切な家族の命を守るよう、「もしも」のときのための備えをしましょう。

check!!

共助で高まる防災力

限られた人数で対応する「公助」には限界があります。自分の命を守る「自助」は、もちろん大切です。そこに、地域とつながり助け合う「共助」が加われば、防災力はより一層高まります。家族や近所の方々と「もしも」の時、どう行動するかを話し合うことも一つの方法です。

数で見る管内の出動状況



火災

29件

前年比+4件

救急

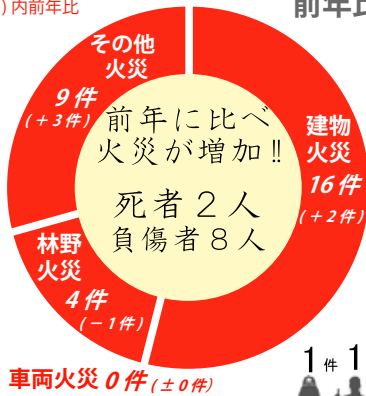
3083件

前年比+130件

1日に約8件の救急出動!!

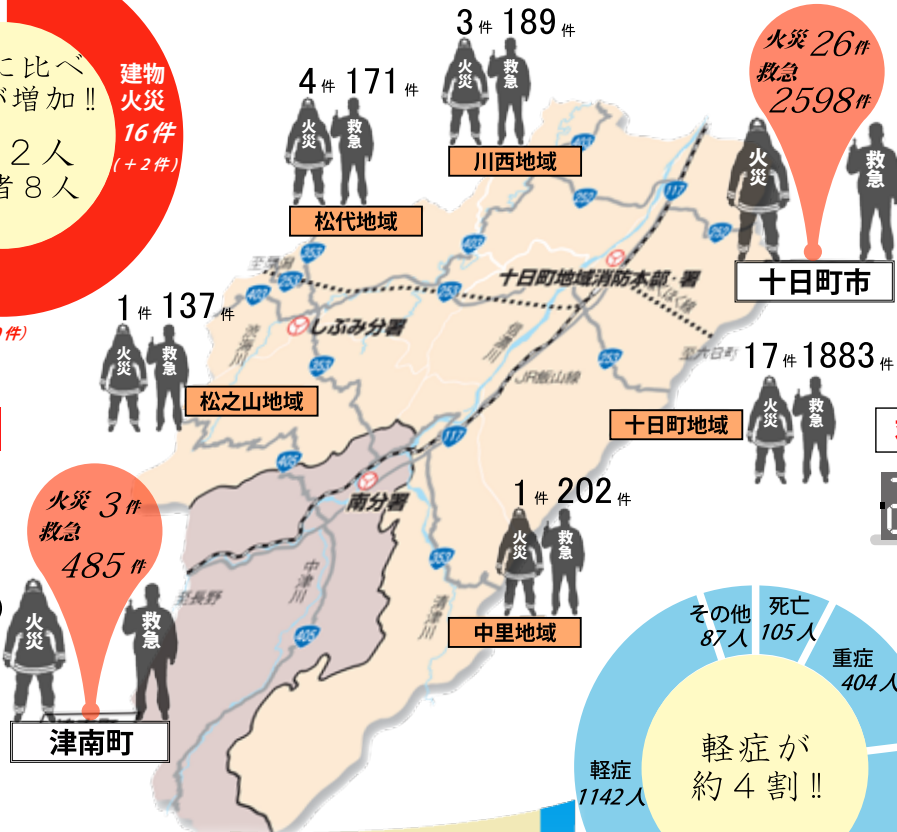
火災種類別

※()内前年比



主な火災原因

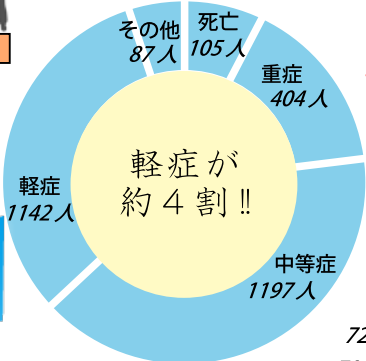
- たき火 (6件)
- 電気装置 (2件)
- 電灯・電話等の配線 (2件)
- 取灰 (1件)
- 放火・放火の疑い (3件)
- 配線器具 (1件)
- ストーブ (2件)
- ボイラー (1件)
- たばこ (1件)
- その他 (10件)



救急搬送人員

2935人
前年比+127人

傷病程度別搬送人員



年齢別搬送人員

- 5人 新生児
- 72人 乳幼児
- 79人 少年
- 成年
- 高齢者

管内人口の20人に1人が救急搬送されたことになりました!!

65歳以上の高齢者が約7割!!

2094人

685人

消防団員募集!



明治33年6月10日に発生した十日町大火は、当時の市街地の80%を焼失させ壊滅的な打撃を与えた、当地域においては過去に例のない大規模火災でした。令和2年は、十日町大火から120周年を迎えることから、この機会を捉え平成28年に発生した糸魚川市大規模火災や近年全国各地で相次いで発生している自然災害に万全に備えるよう、団員の更なる結束と技術力向上及び地域住民の防災意識の向上を図ることを目的に、周年事業を実施することとなりました。



〔十日町大火120周年事業〕

赤色灯

消防だより 火の用心
発行 十日町地域消防本部 〒948-0007 新潟県十日町市四日町新田1-4番地
編集 総務課企画広報係 ■電話 0257(757)0119 ■FAX 0257(757)8499
ホームページ http://www.tokamachi-koukij.jp/ ■E-mail tfd119@tokamachi-koukij.jp